

県職交渉（２月交渉②）の概要

- 1 交渉日 令和７年２月１４日（金）
- 2 場 所 本館地下入札室
- 3 出席者 【当局】行政経営部長、人事課長外
【組合】委員長、副委員長、書記長外
- 4 議 題 病休・休職、年休、増減要素等、ハラスメント

項 目	組 合 主 張	当 局 回 答
病休・休職	○病休・休職は高止まりだが、仕事なのか人間関係なのか等、原因分析はしているのか。 ○新たに始めた民間カウンセラーの取組の効果はどうか。	○原因を１つに特定させるのは難しいが、仕事と仕事以外で、仕事がやや多いくらいだ。 ○１つの対策で解決することはないので、できることを引き続き取り組んでいく。 ○相談の選択肢を増やす意味では効果があると思う。引き続き周知に努めたい。
年休	○令和６年の年休の取得について、５日未満の者はいないか。	○知事部局ではない。
増減要素等	○来年度の業務量の増減要素はどうか。 ○昨日、当初予算が発表されたが、組織に関係するものはあるか。 ○能登半島等の災害派遣についてはどうか。	○国勢調査の実施に伴う統計課の増やコロナ５類移行に伴う健康危機管理課のグループ廃止、被爆８０周年関係事業の増などがある。 ○若者減少対策については体制を検討中だ。 ○最終調整中のところもあるが、農林関係で言えば、熊本は終了の方向、能登は現時点の派遣がベースになる。
ハラスメント	○執務中に着用する名札について、フルネームになっているが、必要な時は名刺等を渡すし、下の名前を常に見せておく必要はない。	○訓令で氏名を記載する型式を定めている。他団体の動きは認識しており、何ができるか考えているところだ。